

## 公益社団法人遠賀町シルバー人材センター 令和7年度 事業報告

### (事業概要)

令和7年度の我が国の経済状況につきまして、米価高騰をはじめ物価上昇・高騰が続き、家計への負担が増している感は否めませんでした。そのような重苦しい雰囲気の中、わたくしたちの町、遠賀町では、新たに「駅みなみ」地区が誕生しました。住宅をはじめとし、医療や商業施設の建設により、利便性の向上が期待されています。

正会員の状況につきましては、入会者22名、退会者25名で3名の減少となり、期末での正会員数は151名となりました。正会員数はここ数年来、センターの健全運営のボーダーラインである150名をわずかに上回るという状況で推移しています。

事業実績につきましては、契約金額が72,386千円となり、前年度との比較では1,117千円の増加となりました。契約内訳、比率は、「公共」が47,203千円（構成比65.2%）、「民間企業」が8,742千円（構成比12.1%）、「一般・家庭」が15,774千円（構成比21.8%）、町補助金事業「地域活動支援事業」が666千円（構成比0.9%）でした。

安全就業につきましては、保険適用事案として、傷害案件が6件（毒虫被害4件、事故傷害2件）、賠償案件が1件（設備破損）発生しています。また、車両損傷案件が4件、車両による設備破損案件が2件発生しています。「安全は全てに優先する」を合言葉に、「事故ゼロ」を達成するため、会員一人ひとりが「決して事故は起こさない」、「自分の身は自分で守る」の意思の元、常に緊張感を持って就業されることを期待いたします。事務局対応として、業務遂行時の安全に対する意識付けや意識向上のため、会員の健康状態確認、ならびに、ペナルティ制度の的確な運用を継続実施して参ります。

以上、事業概要報告とし、続いて令和7年度の事業実績ならびに実施状況等について報告いたします。

### (事業報告)

---

#### 一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

---

##### ○ 就業開拓提供等事業

##### (1) 受託事業（一般）

- ① センターが受注した仕事の提供は、職群班組織を活用し、公平な就業機会を提供するためのローテーション就業を継続的に推進した。
- ② 地域に密着した就業を行うために、心身共に働く意欲のある会員の入会を促進するとともに、就業機会の開拓や就業分野の拡大に努めた。

- ③ 行政・福祉関係機関と連携を取りながら、地域社会の要望に的確に対応できる  
よう体制づくりに取り組んだ。

④ 令和7年度実績

| 就業実人員 | 就業延人員     | 就業率   | 契約金額      |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 118 人 | 10,840 人日 | 78.2% | 71,720 千円 |

⑤ 主な就業分野

ア、一般家庭、民間企業、公共緑地施設等の樹木の剪定・消毒・施肥、草刈、除草、農作業

イ、公共施設等の屋内清掃・受付及び管理、一般家庭・民間企業の清掃、墓地清掃

ウ、小中学校給食配送、要介護認定関係文書收受

エ、在宅高齢者等軽度生活支援、介護施設のデイサービス利用者等への配食、介護用ベッド設置・回収等の福祉・家事援助サービス

オ、選挙ポスター掲示板設置及び撤去、文化祭等の会場設営及び撤去

カ、交通量調査

(2) 地域活動支援事業

町の補助金事業である「地域活動支援事業」は高齢者の知識・経験・能力を生かし、地域社会へサービスを提供するために独自の創意と工夫により、次の事業を企画し実施した。

- ① 高齢者の就業機会を広げるため、町の所有地を無償で借用し、シルバー農園としてさつま芋の栽培を行い、町内外の幼稚園・保育園等の芋掘り体験を実施した。また、町と民間企業共同主催の「福祉フェア」に参加し、さつま芋を販売した。

② 令和7年度実績

| 就業実人員 | 就業延人員  | 就業率   | 契約金額   |
|-------|--------|-------|--------|
| 23 人  | 168 人日 | 15.2% | 666 千円 |

---

## 二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

---

### 1. 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務」の範囲において、企業等からの求人・求職の依頼はなかった。

## 2. 労働者派遣事業

雇用を希望する高齢者に、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務」の範囲において、就業機会を確保するとともに適正な運営のために派遣事業を実施した。

### (1) 令和7年度実績

| 就業実人員 | 就業延人員    | 就業率   | 契約金額     |
|-------|----------|-------|----------|
| 23 人  | 2,172 人日 | 15.2% | 8,558 千円 |

### (2) 主な就業分野

- ① 小中学校（5校）施設等管理
- ② 不法投棄防止環境パトロール
- ③ 福祉施設のデイサービス送迎車両運転
- ④ 障害児童一時預かりサービス送迎車両運転

---

## 三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等（公益目的事業）

---

### 1. 普及啓発事業

- 広報活動を次のとおり行った。
  - ① 「1地域班1会員増加運動」、「夫婦割制度」「新規会員紹介者への特典」等の実施により、会員の増加に取り組んだ。
  - ② 会報「シルバーおんが」を年1回町内の全世帯・企業等に配布し、センターの仕組み、会員の活動状況等を掲載し、シルバー事業に対する理解を求めた。
  - ③ 会員を対象とした機関紙「ふれあい」を年2回発行し、会員の声、地域班及び職群班の活動状況等を掲載し、シルバー事業の周知、意識啓発を行った。
  - ④ ホームページや行政機関の広報誌等を通じて、公共団体、民間企業、地域住民にシルバー事業の情報提供、啓発活動を行った。
  - ⑤ 町と民間企業共同主催の「福祉フェア」で、シルバー事業のPRや会員募集を行った。
  - ⑥ 町役場において、毎月第一・第三（2月より第二・第四）水曜日の午後2時から4時まで入会説明会・相談会を行った。
  - ⑦ シルバー人材センターの会員募集ポスターやチラシを、公共施設に掲示した。

### 2. 安全・適正就業推進事業

#### (1) 安全就業対策

- ① 安全就業推進委員会を年6回開催した。

ア、安全就業対策実施計画を策定した。

イ、安全パトロールを年4回実施し、推進委員により1回あたり2箇所の就業現場を巡回した。

ウ、就業中の事故について事故原因の分析を行い、会員へ周知徹底、同一事故の再発防止を図った。

② 就業前の作業の安全を徹底するため、ミーティングを励行し、安全用具及び機械器具類の始業点検を行った。また、就業前後にアルコールチェッカーにより基準値以下であることを確認、飲酒運転撲滅に取り組んだ。

③ 安全就業に関する標語を募集、優秀作品の表彰と会報「シルバーおんが」へ掲載し、就業途上や就業中の安全の意識を高めた。

④ 安全大会を開催し、安全標語の表彰式、熱中症対策講習会等を実施した。

⑤ 県連合会主催の安全就業促進大会に参加し、委員の研修を行った。

## (2) 適正就業の徹底

シルバー人材センター事業は、「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務」を基本として、ワークシェアリングによるグループ就業やローテーション就業などを継続的に進め、仕事の分かち合いを図った。また、関係法令を遵守するために一般労働者派遣事業への取組みを実施し、適正な事業運営に努めた。

## 3. 相談事業

入会を希望する地域の高齢者を対象に入会説明を実施し、来訪者や電話等での相談に対応するほか、未就業者及び少日数就業者の実態把握に努め、班会議において就業に対する意見聴取や相談等を行った。また、町役場において入会説明会・相談会を定期的に行なった。

## 4. 研修・講習事業

就業上必要となる知識・技能の向上、安全就業を目的として、以下の研修会・講習会に取り組んだ。

(1) 高齢者の就業事故を未然に防止するための熱中症・AED・応急手当等の講習会を実施した。

(2) 労働者派遣法に基づく派遣教育訓練として、認知症、生活習慣病、熱中症等の予防において、日常生活での健康を維持するための講習会を実施した。また同法に基づいて人権講習会に参加した。